



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北5西8計画	階数	地上30F,B1F
建設地	札幌市中央区北5条西8丁目1-1、1-11、1-12	構造	RC造
用途地域	北5条西8丁目地区、駐車場整備地	平均居住人員	1,000 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2016年3月8日
敷地面積	14,245 m ²	作成者	㈱北海道日建設計
建築面積	2,034 m ²	確認日	2016年2月25日
延床面積	42,152 m ²	確認者	㈱北海道日建設計

「配慮シート」に
外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合 既に宅地化している敷地部分のみ建築物を設け、それ以外の敷地は既存緑地・地形を保全する		A 省エネルギー ・中央コア・外周部住戸となるコンパクトな棟構成により、外皮性能が高い
B 省資源等 節水型便器による節水	C 緑化 地区計画に基づく緑化保全部分内及び保全樹木の維持	D 雪処理 敷地内車路・駐車場・アプローチ部分にロードヒーティングを採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される